

# 未来・ねりまニュース

平成21年8月

第3号

社会福祉法人未来・ねりまを支える会会報

## 目次

「ねりま第二事業所設立によせて」  
眞 保 理事 長 挨拶……………P 1  
菅野 施設 長 挨拶……………P 1  
木村 施設 長 挨拶……………P 1  
ねりま第二事業所だより……………P 2  
ねりまだより……………P 3  
事務局だより……………P 4  
支える会だより……………P 4

発行所 社会福祉法人未来・ねりま

〒176-0013 東京都練馬区豊玉中 4-10-6

TEL 03-3948-0275 FAX 03-3948-5864

法人 E-mail honbu@mirai-nerima.or.jp

移行支援 E-mail ikou@mirai-nerima.or.jp

継続支援 E-mail keizoku-1@mirai-nerima.or.jp

ねりま第二 E-mail keizoku-2@mirai-nerima.or.jp

ホームページ <http://www.mirai-nerima.or.jp>

ねりま第二事業所設立によせて

社会福祉法人未来・ねりま理事長

眞保 眞人

平成二十一年四月一日より、ねりま第二福祉作業所が、未来・ねりまの第二事業所としてスタートしました。永年、法外の小規模作業所として、立派に活動し、地域に暮らす知的障害者の日中の働く場を提供して来ました。今回の障害者自立支援法の実施にともない、小規模作業所は原則的になくなり、社会福祉法人、あるいは NPO 法人として活動することになりました。ねりま第二福祉作業所は発足当時より、東京都知的障害者育成会の傘下の作業所として活動してきた経緯があり、ねりま事業所が、社会福祉法人として認可された時に、やがては、未来・ねりまの傘下に入ることになっていました。しかし、ねりま第二福祉作業所の開設している土地・建物はずべて、練馬区の所有であり、練馬区との調整が必要でした。幸い、練馬区のご配慮により、ねりま事業所と同様に、借用をお認めいただいた事により、未来・ねりまの第二事業所として、従来通りの運営が可能となりました。

社会福祉法人未来・ねりまは、二つの事業所を持つ法人として、練馬区に住む知的障害者の福祉の増進のために決意を新たにしていかなければなりません。練馬地区と大泉地区とのロケーションバランスもよく、今後二つの事業所が相互の特色を生かして、地域に密着したサービスを展開していけるよう努力してまいります。

ねりま事業所施設長

菅野 絹子

ねりま第二事業所法人化、おめでとう。

知的障害者育成会の民営作業所として、長い間、共に歩んできたねりま第二作業所が種々の条件を満たして、二十一年四月から法人となり同じ立場で活動できることは、この上もない喜びです。ねりま事業所も法人をとり、三年目を迎え、就労移行・継続 B と、日々精を出し成果をあげています。第二事業所の皆さんも、仕事に、スポーツに、日々の生活を充実させ、また地域とのかかわりも持ちながら、愛される事業所として、社会に貢献出来るよう努力しましょう。

ねりま第二事業所施設長

木村 智恵子

二十三年間小規模作業所として、地域に根ざした作業所を目指し、身近な問題を解決しながら、職員・保護者・親の会の方々と、力を合わせて、小規模作業所だからこそ出来るキメ細かいサービスを心掛けてきました。

平成二十一年四月、社会福祉法人「未来・ねりま」ねりま第二事業所として、就労継続支援事業（B 型）への、移行となりました。

今、四ヶ月余りが過ぎようとしています。利用者さんが安心して通所し、仲間達と楽しく働き、少しずつ自立が出来る様、支援をしていきたいと思っています。

# ねりま第二事業所だより



ねりま第二事業所は、1986(昭和61)年4月に練馬手をつなぐ親の会の会員の強い要望により、心身に障害をもつ方たちの働く場・集団生活の場を提供することを目的に、練馬区の元学童クラブ室借用し「子供たちと一緒に働こう」と母親たちと職員3名利用者8名で発足しました。これ以来の歩みは、知的障害者を持つお母さん方の努力の道でもあります。

2007(平成19)年、社会福祉法人未来・ねりまが設立され、2009(平成21)年には、「ねりま第二福祉作業所」を「ねりま第二事業所」として開設しました。ねりま第二事業所は、これからも障害者が喜びを持って生き生きと働ける就労活動を拠点として支援していきます。ここ数年、若い利用者が増え、事業所も賑やかになってきました。事業所前には、区民農園があり、その一画を借りて地域住民と共に作物を育てながら、交流を深めています。



## 就労継続支援 (B型) 事業の紹介

### ・利用定員

35名 (現員 32名)



### ・作業内容

割りばしの鞘入れと製品化・雑誌の付録入れ・お灸作り(百草)  
区立公園清掃・LP清掃・チラシ折り・ポスティング作業等

### ・活動

利用時間 月曜日から金曜日(午前9時から午後4時まで)

#### 日課

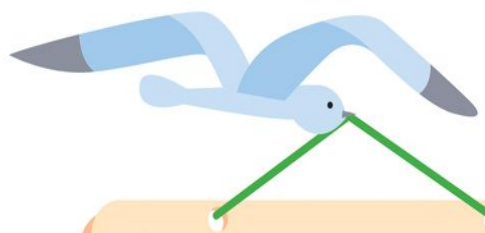
8:45	9:00	9:30	10:30	10:40	12:00	1:00	3:30	4:00
着替・来所	朝礼・体操・掃除	作業	休憩	作業	休憩・厚食	作業	ミーティング	掃除・帰宅

### ・クラブ活動

新聞・園芸・プール(月1回)

### ・レクリエーション活動

料理教室・体操教室



### 職員豆知識

こんにちは。ねりま第二事業所の職員です！  
今後このコーナーでは、職員の紹介をしていきたいと思ひます。





# ねりま事業所だより

## 就労移行支援事業

就労移行支援事業では、平成21年4月より、新たに5名の利用者を加え、計8名で新しい年度をスタートしました。新しい利用者は、いずれも3月に高校を卒業したばかり。学校生活とはまた違った雰囲気の中、若さとパワーで毎日頑張っています。今は、一日でも早く、仕事を覚え、就職に向けての準備にとりかかることが目標です。

また、2年目を迎える利用者も企業体験実習や企業・施設見学、会社面接など、精力的に活動しながら、就職を目指しています。



みんな仲良く、協力し合って頑張ります！

## 新規利用者にインタビュー

- ① 楽しかった行事は何ですか？
  - ・みんなで東京ディズニーランドに行ったこと
  - ・スポーツ大会
- ② 一番楽しい仕事は何ですか？
  - ・フック付け ・封入作業
  - ・箱おり
- ③ 難しい・大変と感じることは何ですか？
  - ・会社の人との面接・面接に向けた練習

## 就労継続支援事業

就労継続支援事業は新年度を迎え、新しく3名の利用者が入りました。初めは緊張した様子で、わからないことや難しいこともありましたが、周りの先輩や職員に教えてもらったり、聞いたりしながら、少しずつ仕事にも慣れてきました。

現在は32名の利用者が、様々な目標を持って、受注や清掃、喫茶の仕事に取り組んでいます。



LP 清掃  
毎週月・水・木曜日にアパートの清掃に行きます。自分の役割を考えながら掃除しています。



受注作業風景  
雑誌の付録や箸の袋入れ、フックの仕事などを行っています。難しい仕事にも挑戦します。

## 平成21年度 年間行事予定

- |     |                   |     |               |
|-----|-------------------|-----|---------------|
| 5月  | 東京都障害者スポーツ大会      | 12月 | 障害者フェスティバル    |
| 6月  | 練馬区障害者通所施設合同運動会   |     | 育成会クリスマス会(駒沢) |
|     | バスハイク(東京ディズニーランド) |     | 親の会クリスマス会     |
| 8月  | 福祉盆踊り大会(豊玉公園)     |     | 年忘れ会          |
| 9月  | スポーツの集い(東京体育館)    | 3月  | 福祉マラソン大会(皇居)  |
| 10月 | 宿泊訓練(1泊2日)        |     | バスハイク         |

※毎月1回…秋田医師による定期健康診断

# 事務局だより

## ●平成20年度事業活動概要報告

法人本部 事務局長 齋藤洋

社会福祉法人未来・ねりまは平成19年3月に設立、4月にねりま事業所が就労移行支援及び就労継続支援(B型)の多機能型事業所として事業開始し、本年度で2年目になりますが、事業活動は概ね順調に推移しました。

### (1) 社会福祉法人 未来・ねりま 平成20年度決算報告

平成21年5月20日(水)午後に理事会、評議員会が開催され、平成20年度決算書が承認されました。

法人本部では、下期に会計経理担当職員を採用し、請求、庶務担当職員との業務処理体制に整備し、法人運営基盤を確立しました。本部、ねりま事業所の運営実績も当初予算と大きな相違はなく、決算内容は良好でした。

### (2) ねりま事業所運営について

ねりま事業所では、就労移行支援は定員7人、8人在籍で開始し、個別支援計画に基づいた移行支援プログラムにより社会性や職業訓練を行い、9月に2人が一般企業に就職が出来ました。これで昨年度から合計5人の方が一般就労し、職場に定着しています。

就労継続支援は定員33人、在籍31人で開始し、1人が下期に就労移行支援へ転籍し、年間通じて概30人在籍で、個別支援計画に基づいた利用者支援を行い、事業所での就労活動により、従来の受注は減少していますが、アパート清掃等の委託が増えたことにより、昨年より約5%増の工賃を支給することが出来ました。

### (3) ねりま第二福祉作業所の法人内事業所移行について

ねりま第二福祉作業所保護者会や職員への説明会を行い、下期からは法人移行業務推進担当職員を採用し、東京都事業者指定係や法人内打合せを重ねて、順調に12月申請し、3月に障害福祉サービスの事業所指定を受けました。

平成21年4月1日より、現状職員を施設長はじめ法人職員として再雇用し、就労継続支援事業(B型)ねりま第二事業所として、現在の通所者と利用契約を締結し、35名定員32名在籍で事業を開始しました。

## ●平成21年度事業活動重点計画概要について

- (1) 練馬手をつなぐ親の会成年後見制度利用検討部会事業活動や法人事業所利用者の個別ケアを含めた相談支援の充実を図る為に、練馬区相談支援事業との連携を模索する共に、相談支援事業への事業展開を調査、検討していきます。
- (2) グループホーム(4人)・ケアホーム(2人)事業を、平成21年度から3年間の事業計画で推進していきます。
- (3) 喫茶事業を整備、充実し、利用者の社会性向上や職能訓練を行う場所として見直し、集客力向上を図っていきます。
- (4) 利用者に対する個別支援計画の充実を図ると共に、日常生活も含めた生活支援の在り方について、研修していきます。
- (5) ねりま第二事業所の新事業体系へのスムーズな移行を行うため、本部及びねりま事業所から支援を行うと共に、工賃収入増の為に、受注増の方策を検討しつつ、ねりま事業所の委託、受注事業の中で、移転可能事業を検討していきます。

# 支える会だより

## ●社会福祉法人未来・ねりまを支える会報告会

(1) 平成21年9月17日(木)10時から12時半、於:練馬区役所アトリウム棟地下多目的会議室

- 社会福祉法人未来・ねりまを支える会平成20年度決算と平成21年度予算は未来・ねりまを支える会報告会で報告
- 社会福祉法人未来・ねりまを支える会会則及び役員は、ねりま第二事業所加入により変更、支える会報告会で報告
- 社会福祉法人未来・ねりまを支える会入会のご案内

<目的> (社福)未来・ねりま及びねりま事業所・ねりま第二事業所の充実発展と利用者の支援・啓発に寄与すること。

<会 員> 利用者・保護者、役員・職員・お取引業者等の法人関係者、親の会会員等でどなたでも入会出来ます。

<年会費> 1口 2,000円ですが、希望口数としては、個人1口以上、団体・企業等5口以上でお願いしています。

<振替口座> 郵貯 00110-4-544768 社会福祉法人未来・ねりまを支える会(払込料金は会負担で手数料は無しです)

<お問合わせ> 練馬区豊玉中 4-10-6(社福)未来・ねりま ねりま事業所内 TEL3948-0275 FAX3948-5864  
支える会事務局(齋藤、江連)にご連絡下さい。入会申込書兼入会受付書及び会則をお送り致します。